

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2023年6月26日】第170号



水泳の学習

6月19日(月)から、農大稲花小の水泳学習が始まりました。本校には屋上、体育館の上に、25メートルプールがあります。都心を臨むことのできる広々としたプールです。月曜日はまず、5年生がプールに入りました。5年生(1期生)は入学した年、2019年に初めて本校のプールを利用した子どもたちです。当時は、子どもたちの背丈と比べると水深があり、プールの縁に必死につかまっている子どもたちも少なくありませんでした。しかし、今年は違います。水深は変わらないのですが、背丈が伸びたためか、プールが小さく、浅く感じられました。体育科教員や担任団の指導や見守りで、無事に今年のプール開きとなりました。

6月20日(火)は2年生、6月21日(水)は4年生がプールに入ることができたのですが、お天気に恵まれたのはここまででした。残念ながら、22日(木)の3年生と、23日(金)の1年生はプールには入れませんでした。水温と気温が低く、水泳の学習ができなかったのです。とても残念ですが、次週に期待しましょう。どの学年も少なくとも3回は水泳の学習が行えることを目指していますが、お天気に左右されることについては、子どもたち、そして保護者の皆様にもご理解いただけることを願っています。そして、安全第一にしての、水泳の学習を進めてまいります。

暑さに慣れよう

水泳授業ができない日もありましたが、一方で、暑さを感じる日も多くあります。授業中は窓を開けて換気をしながら、エアコンも利用しています。学習に集中できるようにするためです。特別教室や体育館も同様です。一方、休み時間になると、暑さや日差しを気にせず、子どもたちはグラウンドやサブグラウンドに飛び出していきます。帽子をかぶることや、十分な水分摂取を指導していますが、同時に、子どもたちにはしっかりと汗をかき、からだを暑さに慣らしてほしいと考えています。休み時間だけではありません。体育の授業、校外での学習、そして毎日の登下校においても、汗をかき、水分を補うとともに、自分の体調と相談しながら適切に行動できるようになることが大切です。

大切な健康観察

4年生は間もなく山梨県小菅村での宿泊学習が始まります。宿泊学習に参加するためには、毎日の健康観察が必須です。出発当日、健康観察が整っていない子どもは、残念ながら宿泊学習に同行することができません。これは、他の子どもたちの健康を守るためです。健康観察は自分のためであるだけでなく、友だちのためでもあり、また宿泊学習を安全に行うためにも必要なのです。健康観察の意義について、子どもたちにも理解を深めるよう指導していますが、ご家庭での指導は欠かせません。改めて、ご協力をお願いいたします。

一時は激減した新型コロナウイルス感染症ですが、本校でも再び、新型コロナウイルス、おたふ

く風邪、ヘルパンギーナなど様々な感染症に流行の兆しがみられます。感染してお休みする子どもたちには、学校の授業のことは心配せずに、まずはしっかり休養を取ることを勧めています。この機会に読書などにいそしんだり、自分なりの調べ物をしたり、あるいは低学年であれば保護者が読み聞かせをしたりするのもよいことです。何より、少しの欠席であれば、担任がしっかりフォローしますので心配ありません。焦ることはないのです。しっかり回復してから登校してくるのを待っています。

子どもたちと楽しく

休み時間、職員室や校長室に子どもたちがやってきて、楽しくお話をすることがあります。今週は、学校のバケツを使ってみんなでイネを育てたいので、苗を分けてくださいという子どもたちが来ました。予備用に育てておいた苗を分けると、喜んで持っていきました。職員室で育てていたため徒長気味の苗ですが、子どもたちがテラスで育ててくれれば、きっと元気に育つに違いありません。育つ様子を校長も楽しみに観察したいと思いました。

また別の日は、「どうやったら研究者になれますか」という子どものインタビューを受けました。真剣なその問いには、面白いと思ったことに熱中してとりくむことがまず大切だと答えました。研究や実験は失敗することの方が多いけれども、面白いと思ったことなら何回でも繰り返してチャレンジできるでしょう。そしてもう一つ、いろいろな本を読んだり、いろいろな人の話を聞いたり、相談したりすることが大切だとも話しました。1人でできる研究というのはないからです。そんな話を、熱心に聞いてくれる子どもでした。次は、どんな子どもたちがやってくるでしょうか。

中等部見学会

6月24日(土)、東京農業大学第一高等学校・中等部のご厚意により、農大稲花小5年生の児童とその保護者を対象とした中等部見学会が開催されました。当日は多くの児童と保護者が参加し、中等部にお邪魔しました。まず幸田論昭校長から中等部の教育の理念や教育の特徴についてお話をして頂きました。また、紙谷知行教頭は中学校の成長のために今、農大稲花小でがんばってほしいことについてもお話くださいました。とくに、中等部で掲げる「共創する」という言葉を幸田校長から教えていただきました。この「共創する」という言葉の大切さは、参加した誰もが理解したに違いありません。友だちと一緒に学び、考え、遊び、共に育ち、共により良い学校生活そして自分自身を創り出そうとする子どもに、農大稲花小から中等部に進学してほしいと強く感じました。

ご説明の後は、学校の見学です。いくつかのグループに分かれ、グループごとに中高の先生方が付き添って、校内をご案内くださいました。学校内の設備、部活動の様子などを知り、また実際に真剣な表情で授業を受けている生徒さんたちの様子も見せていただくことができました。

見学会に参加した子どもたちにも、また保護者の皆様にも、どのようにしたらより有意義な小学校生活にできるか、あらためて考える機会になったことでしょう。

東京農業大学稲花小学校
校長 夏秋 啓子